

はじめるまえに

このプログラム集には、自然とふれあいながら、環境について学ぶことのできる活動を集めています。

しかし、野外での活動を行うためには、いくつか注意しなければならないことがあります。ルールを守って、お父さんやお母さん、先生など大人の人といっしょに、安全に、楽しく活動しましょう。

◎ プログラムを行うときには、次のことに注意しましょう。 ◎

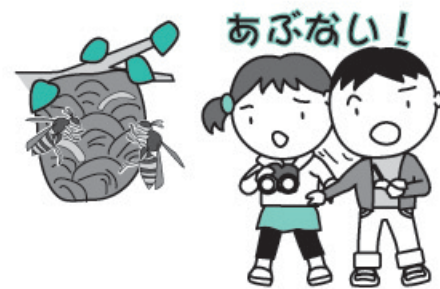
動物や植物などの生き物の採集

生き物を採ることが禁止されている場所があります。
そのほかの場所でも、種類によっては採ることのできない生き物があります。
生き物を採集することのできる場所でも、必要以上に採ることはやめましょう。



危険な生き物

野外には、気を付けなければならないスズメバチやヒゲマ、マムシなどの危険な動物や、触れるとかぶれるウルシや毒のあるトリカブトのような植物があります。
そのような生き物に近づかないよう注意しましょう。
また、虫に刺されたり、植物にかぶれたりした場合には、すぐ病院に行き、手当を受けましょう。



水辺で注意すること

水辺では、必ず大人の人と活動しましょう。また、必ずグループで行動しましょう。
川の流れは思った以上に早く、日によって状況が変わります。流れの速さを確認してから川に入りましょう。
川には、川底が見えるところで、水深30cmくらいのところまでとし、これより深いところには入らないようにしましょう。
はだしで入ると危険なので、ぬれてもよい靴をはきましょう。



ゴミについて

ゴミは、美しい風景を台無しにするだけでなく、野生の生き物にも悪い影響を与えます。
自分の出したゴミは必ず持ち帰りましょう。また、落ちているゴミを見つけたら、できるだけ拾って帰りましょう。



冬の活動について

冬の活動では、体が冷えないよう、暖かい服装でかけましょう。
雪の深い場所を歩くとときは、長靴やスノーシューを使いましょう。

支援キット情報

北海道環境サポートセンターでは、このプログラム集の活動に役立つ「環境学習支援キット」の貸出しをしています。

現在、次の物を貸し出しています。

① 15倍双眼鏡



手ぶれを気にしないで使うことができる、倍率の高い(=遠くの物がよく見える)双眼鏡です。野鳥などの自然観察や、天体観測に便利です。
雨が降っていても使える仕組みになっています。

② 8倍双眼鏡



とても軽く(180g)、コンパクトにたたんで持ち運べる双眼鏡です。

③ プロジェクター



パソコンやビデオなどの画面をスクリーンに映して、みんなで見ることができます。

④ トランシーバー



街の中では100~200m、郊外(森など)では1~2kmの距離まで話することができます。
多少の水滴が付いても使える仕組みになっています。

⑤ スノーシュー



雪の深いところを、雪の中に沈まずに歩くための道具です。
冬の野外での活動に使ってください。
小型(体重が36~69kgの人用)スノーシューと大型(体重が54~91kgの人用)スノーシューの2種類があります。

⑥ 顕微鏡



直径1.1mmの範囲を20倍にまで拡大して見ることのできる顕微鏡です。
雨や曇りの日でも観察できるよう、照明装置が付いています。

- ・貸出しを希望する場合には、まず環境サポートセンターに電話してみてください。
- ・貸出しができる場合には、利用申込書を提出してください。
- ・利用申込書は、環境サポートセンターのホームページからダウンロードできます。(アドレス：http://www.heco-spc.or.jp/kit_doc.pdf)
- ・貸出期間は1週間です。貸出しは無料です。
- ・プロジェクター以外は郵送も可能です。(送料が必要です。)
- ・貸出しできる物は、今後追加される予定です。

※詳しくは、環境サポートセンターに電話してください。

電話 011-218-7881 FAX 011-218-7882